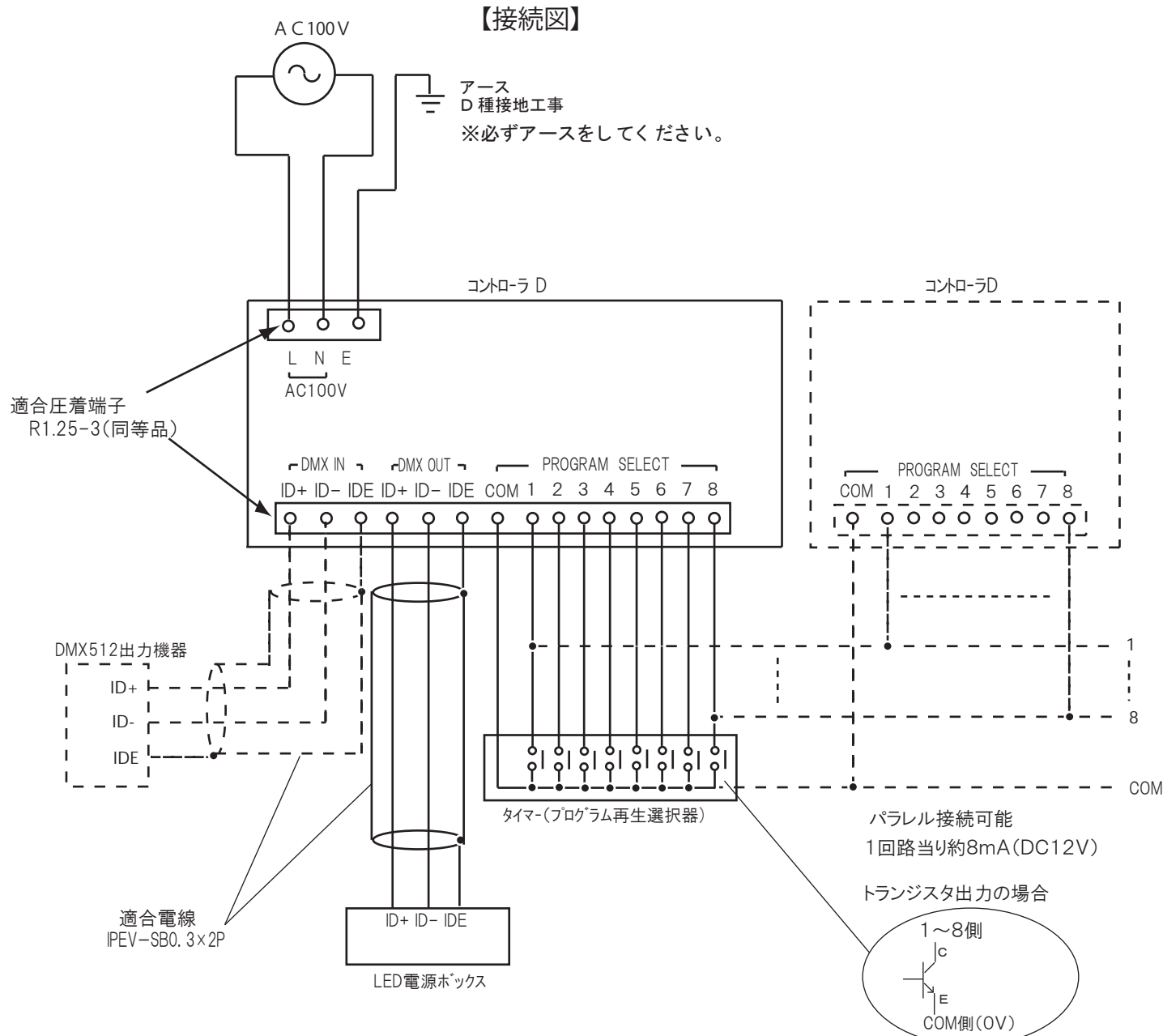


施工説明

- 1) 取付方法
外観図を参照し、取付ピッチ(100mm×190mm)にてM4ビス(3点セムス)での取付をお勧めします。
- 2) 結線方法
以下の結線図を参照してください。



注) 出荷状態では、プログラムの1番にはあらかじめ、演出データが登録されていますので、コントローラD用演出ソフトがない場合でも、本コントローラからの負荷の配線チェックが可能です。

登録内容: 赤(R)→緑(G)→青(B)へ変化し、ループします。(ウォーク)

Panasonic®

コントローラD 演出プログラム自動再生器 EDL10012

取扱説明書

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくお使いいただくため、この説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとも大切に保管して下さい。

安全に関するご注意

ケガや事故防止のため、
以下のことを必ずお守り下さい



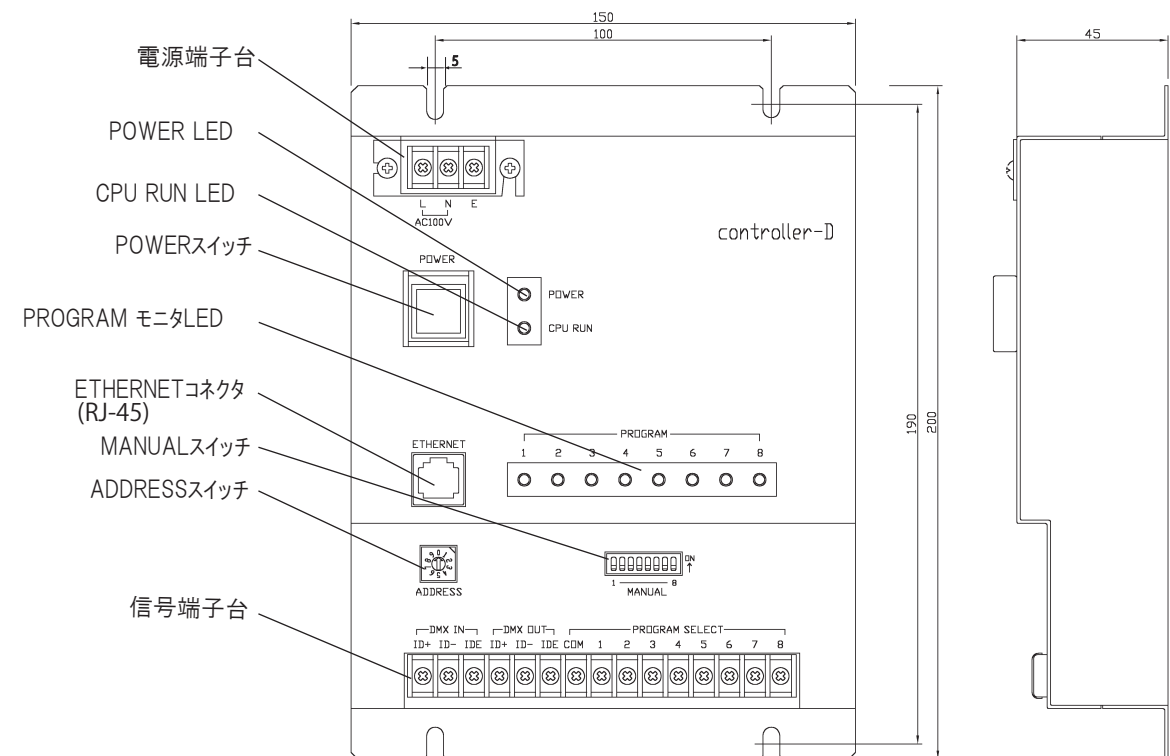
警告

- 本器のボックス内部を濡れた手でさわったり、内部に水をかけたりしない。 火災・故障の原因となります。
- 改造をしない。 火災・感電・故障の原因となります。

【仕様】

定格入力電圧	AC100V 50/60Hz
定格電力	4.5W
演出データ入力	イーサネット(10/100BASE-T)
入力信号	DMX512(RS-485)
出力信号	DMX512(RS-485)
プログラム選択信号	フォトカプラ絶縁入力(DC12V 約8mA/1点)
記憶容量	約16MB
プログラム数	最大8プログラム
同時演出数	最大4プログラム(オルタネイトモード時)
制御チャンネル数	512チャンネル(灯具:170台分)
外形寸法・質量	150W×200H×45D(突起含まず)・約920g
動作環境	温度0～40℃ 湿度20～80%

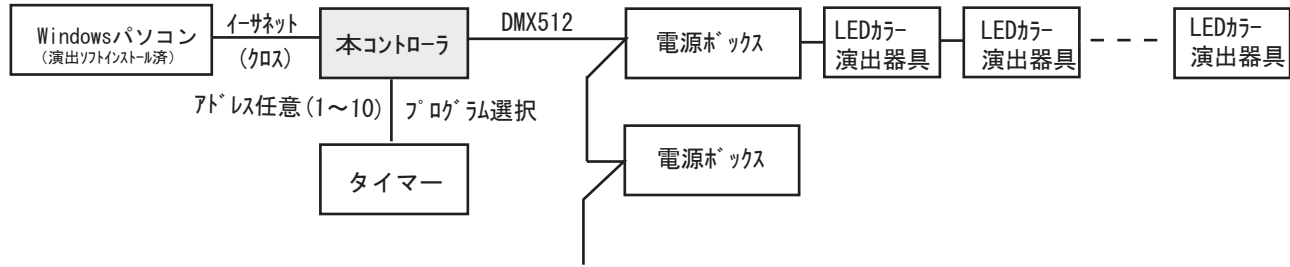
【外観】



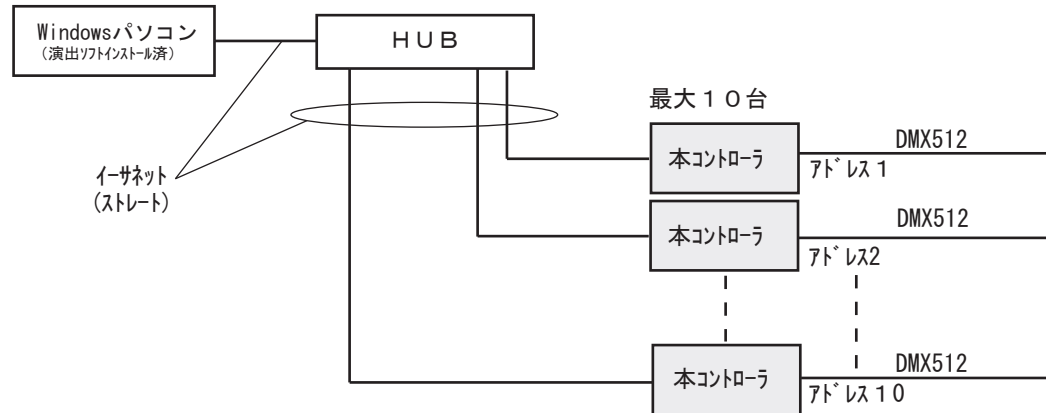
【システムについて】

本コントローラは、コントローラD用演出ソフトで作成した演出データを予め登録して再生する機器です。
以下にシステム構成例を示します。

1) コントローラD用演出ソフトと本コントローラ1台との接続例



2) コントローラD用演出ソフトと本コントローラ複数台との接続例



* コントローラD用演出ソフト

パソコン上で、演出データを作成するアプリケーションソフトです。
作成したデータは、イーサネット接続（LANケーブル）で本コントローラに転送されます。
詳細については、コントローラD用演出ソフトの取扱説明書をご参照ください。

* タイマー

登録している演出プログラム（1～8）にスタート信号を出力する機器です。
再生モード（オルタナイト・ワンショット）に合わせた信号を出力してください。

* 電源ボックス

DMX512信号を本コントローラから受信し、設定された任意のアドレス（チャンネル）を先頭としたデータをLEDカラー演出制御信号に変換する機器です。

* LEDカラー演出器具

電源ボックスから、赤・緑・青の3原色のデータを受信して、各々0～255の256段階の照度でLEDを点灯させる器具です。

【各部説明・取扱方法】

1. 電源端子台

電源供給端子台です。接続図を参照して、下記の接続を行ってください。

- ・AC100VをL・N端子に接続してください。
- ・E端子には、必ずアース（D種接地）を接続してください。

※接続時は、端子台カバーの取付けビスを弛め、カバーを外してください。
接続後は、必ず端子台カバーを取付けてください。

2. 信号端子台

端子台カバーを外し、接続図を参照して下記の接続を行ってください。

接続後は、必ず端子台カバーを取付けてください。

1) DMX IN端子

必要に応じて、他のコントローラのDMX出力信号を接続します。

この端子にDMXを入力すると、下記のDMX OUT端子から同一信号を出力します。

2) DMX OUT端子

LED制御ボックスと接続します。

下記①→②→③の優先順位で出力されます。

- ①RGBPRO. メーカーライブ（ダイレクト）出力
- ②DMX IN ループ出力
- ③登録データの再生出力

3) PROGRAM SELECT端子

「COM」端子と各々「1」～「8」端子を接続します。「1」～「8」の何れかの信号がON（「COM」端子と接続）されると、該当するプログラムが再生されます。

下記の「MANUAL」スイッチの操作は、「1」～「8」の信号入力と同等です。

再生モードとして、オルタナイトとモーメンタリ再生の2種類のモードがあります。

このモード設定は、演出データの登録時に決定されますが、2種類が混在することはありません。

①オルタナイトモード説明

- ・再生中に信号がOFFした場合は、3秒間のフェードアウト処理後停止します。
- ・演出の最後まで信号がONしている場合は、再生を繰り返します。

＜同時再生について＞

オルタナイトモード時のみ、最大4プログラムまでの同時再生が可能です。

- ・照度の一番明るいデータが出力されます。
- ・再生中に、途中で別のプログラムがONされた場合は、全て最初からの同時再生になります。ただし、4プログラムを越える場合は、後でONした信号は無視されます。
- ・同時再生中に一つでもプログラムがOFFされた場合は、全て最初からの再生になります。

②モーメンタリモード説明

- ・一度信号のONを認識すれば、再生中に信号がOFFしても、再生は続行します。
- ・演出の最後まで信号がONしている場合は、最後の再生データを保持します。最後に演出表示をクリアする場合は、プログラムの最後にクリアデータを登録してください。

3. 「ETHERNET」コネクタ

演出データの登録及び、ライブ（ダイレクト）再生時、LANケーブルにて、コントローラD用演出ソフトのパソコン（または、ハブ）に接続します。（常時接続でも構いません）

ただし、登録データ再生中は、演出データの登録はできません。

4. 「ADDRESS」スイッチ

ハブ経由で、RGBPRO. メーカーのパソコンと本コントローラを複数台接続する場合に、イーサネットのアドレスを設定するスイッチです。0・1～9（0は10設定になります）まで10通りのアドレスが設定可能です。設定値が変更されるのは、電源の投入時のみです。

出荷時の設定は”1”です。

5. 「MANUAL」スイッチ

「1」～「8」までの何れかのスイッチがONされると、該当するプログラムが再生されます。

上記2. -3) 項「PROGURAM SELECT（1～8）信号のON入力と同等です。

出荷時の設定は全て”OFF”です。

6. 「POWER」スイッチ

押す毎にON/OFFを繰り返します。押して押し下がった状態がONの状態です。

電源端子台に電源供給されている場合ONすると、「POWER」LEDが点灯します。

出荷時は”OFF”の状態です。

7. モニタLED

1) 「POWER」LED

AC100V電源を供給し、「POWER」スイッチにて電源をONすると点灯します。

2) 「CPU RUN」LED

CPUが正常に動作している場合、1秒周期で点滅します。

3) 「PROGRAM」・「1」～「8」LED

プログラムの再生中に該当するLEDが点灯します。

※LEDの点灯は、”再生中”モニタのため、「MANUAL」スイッチとPROGURAM SELECT 入力信号の合わせたONの数とは、必ずしも一致しません。

※イーサネットのアドレス変更中は、（電源ON時）「1」～「8」LEDが全点灯します。